

平成27年度

学校関係者評価報告書

平成28年8月

学校法人日本コンピュータ学園

東北保健医療専門学校

平成27年度 学校関係者評価報告書

平成20年度に学校教育法施行規則が改正となり、専門学校による学校自己評価の実施が義務化されたことを受けて、学校法人日本コンピュータ学園東北保健医療専門学校では、平成24年度より教育活動実施状況を総合的かつ客観的に点検・評価し、問題点を明らかにした上で、次期の教育活動や学校運営の改善に活かし、開かれた学校づくりを進めることを目的とした「学校自己評価」を実施しています。

さらに、平成25年度からは、学校の卒業生、関係業界、学識経験者から成る「学校関係者評価委員会」を設置し、学校関係者による評価も実施しております。

平成27年度の教育活動、学校運営につきましても、学校自己評価ならびに学校関係者評価を実施致しました。学校関係者評価委員会においては、多くの貴重なご意見やご指導を頂き感謝申し上げます。

今後とも学校関係者評価を計画的、継続的に実施し、教育の質の向上、学校運営の改善強化に向けて取り組んでいく所存です。

1. 学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員

菊田 正信 氏 東北管理株式会社 代表取締役 (委員長)

三浦 陽平 氏 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 作業療法士

渡部 達也 氏 株式会社わざケア 代表取締役

渡邊 好孝 氏 医療法人松田会 リハビリテーション部部長 人材育成部顧問

事務局

清水 逸	校長
大苗 敦	法人事務局 部長
橋本 康男	東北電子専門学校 総務部長
上遠野純子	東北保健医療専門学校 教務課長
佐藤 美加	東北保健医療専門学校 教務課長
鈴木 香織	東北保健医療専門学校 総務課長代理
岩淵富美子	法人事務局（書記）
高橋 英子	法人事務局

2. 評価対象期間

自：平成27年4月1日

至：平成28年3月31日

3. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員の皆様に「学校自己評価」の結果について事務局より説明し、評価結果に対するご意見をいただきました。いただいたご意見は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表致します。

4. 評価基準毎の学校関係者評価

評価項目毎に委員からの評価、意見、提案を報告します。

評価は、4～1の点数で記載します。

評価 4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切

■基準1 教育理念・目的

評価 4

- ・ 教育理念・育成人材像等については明確に定められ、パンフレットやホームページで広く周知している。
- ・ 教育課程編成委員会の外部委員からいただいた意見を踏まえて、教育方針、教育目標、育成人材像を検討しており、今後も継続していただきたい。
- ・ 学生や新入生の保護者に学修要項を配布し、説明することで、学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などの周知に努めていることがうかがえる。

■基準2 学校運営

評価 3

- ・ 前年度の学校評価及び事業計画に基づいた運営方針を策定しており、組織的な学校運営がなされている。今後も、より効果的に機能するような組織体制を推進していただきたい。
- ・ 人事、給与に関しては、法律改正に合わせた見直しを適宜実施しており、コンプライアンス体制も整備されている。
- ・ 教育活動に関する情報として、カリキュラムや国家試験対策などの課外授業について入学案内書やホームページで公開しており、今後も適切な情報公開をしていただきたい。
- ・ 情報システム化は、積極的に取り入れており、効率的な業務の推進を図っていることがうかがえる。

■基準3 教育活動

評価 3

- ・ 教育課程編成委員会の委員よりいただいた意見を踏まえて教育目標や教育内容を検討しており、教育課程の編成にも活かされている。

- ・ 理学療法科、作業療法科は3年課程で到達させるべき目標が明確になってきており、各学科とも規定及び資格取得に必要な条件に基づき、体系的にカリキュラムが編成されていることがうかがえる。
- ・ 実践的な職業教育として、インターンシップを定例化していくよう引き続き検討を進めていただきたい。
- ・ 学生からの授業評価は、高評価を得ており、今後も教育活動の質の向上を目指して、教員の指導力向上を目的とした研修会の定例化に期待します。
- ・ 理学療法科、作業療法科は、国家試験出題基準の変更に基づいた体制を整備しており、今後は介護福祉科の国家試験における体制強化を図っていただきたい。
- ・ 教員の研修については、専門分野の最新技術・知識や指導力向上のための研修を必要に応じて実施しており、職員の研修についても検討をお願いしたい。

■基準4 学修成果

評価 3

- ・ 就職については、担任と就職センターが連携し、学生への早期意識づけを行うなど、きめ細かな支援をしており、今後も継続していただきたい。
- ・ 国家試験出題基準の変更に伴い、試験範囲や出題傾向の分析を実施し、指導体制を整備した結果、理学療法科は全国平均以上、作業療法科は全国平均並みの合格率となり望ましい成果をあげている。
- ・ 退学率低減のために、早期から学生相談を実施し、保護者と連携する等、学生支援を強化しており、引き続き取り組みを期待したい。
- ・ 卒後教育として研修会を開催し、各職場での事例や事案を発表するなど、卒業生の活躍を把握することに努めている。今後も多くの卒業生の意見を把握し、教育活動に反映させていただきたい。

■基準5 学生支援

評価 4

- ・ 学生の進路・就職については、「就職支援プログラム」の下、担任と就職センターが連携して計画的に指導が行われている。さらに今後は学科ごとの体制整備を進めていただきたい。
- ・ 学生相談や学生の経済的側面、健康管理に対する支援体制は整備されており、課外活動についてもボランティアの紹介や協力、自主的な学習への支援も適切に行われていることがうかがえる。

- ・ 学生寮をはじめ、校内にはメディアセンター、食堂、売店、就職センター、保健室、相談室、自習室などを備え、適時個別の相談を実施し、快適な学生生活が送れるよう十分な学生支援が行われている。
- ・ 保護者との早期相談と協力体制において、学生が主体的に学習できるよう今後もさらなる連携をお願いしたい。
- ・ 教育課程編成委員会の委員からのいただいた意見、さらに卒業生や関連施設からの聞き取り等において社会人のニーズを把握することにより、教育内容の改善や教育の質の向上に努めていることがうかがえる。
- ・ 「平成27年度宮城県介護従事者確保対策事業」として「中学生・高校生対象の福祉・介護体験講座」を実施した。また、新3年生対象の「春のオープンキャンパス」にて、職業理解を深める企画を実施するなど、高校と連携したキャリア教育・職業教育の取り組みがなされている。

■基準6 教育環境

評価 4

- ・ 施設・設備は十分に検討し、的確に判断したうえで購入するなど、必要性に対応した整備がなされている。
- ・ 理学療法科、作業療法科、介護福祉科の実習施設および教育体制は整備されており、今後、理学療法科の学生数増加に伴った学内外の実技・実習施設について安定的な確保をお願いしたい。
- ・ メディアセンターや各教室の活用等、自主的に学習するための環境は整備されている。今後、研究結果を参照することができるよう、医学雑誌や学術雑誌の整備に努めていただきたい。
- ・ 防災・地震に対する訓練が定期的に行われており、防犯についても徹底した巡回・施錠を強化し、適切に対応していることがうかがえる。また、災害傷害保険等にも加入しているとのことで、取り組みを継続していただきたい。

■基準7 学生の受け入れ募集

評価 4

- ・ 学校のホームページをリニューアルするなど、入学希望者に適切な情報を提供することに努めており、適正な学生募集広報活動を行っていることがうかがえる。
- ・ 春のオープンキャンパスをはじめ、体験入学会やオープンキャンパスでは適宜内容を検討し、今後もより満足度の高い企画を参加者に提供していただきたい。

- ・ 学納金は、他校の学費水準も把握し、教育内容や教育環境に照らし協議の上決定しており、妥当であると考えます。

■基準 8 財務

評価 4

-
- ・ 学校の財務状況及び会計監査は適正なものであり、今後も財務基盤の安定のために、少子化の時代を見据え、支出の見直しによる経費削減、メリハリのある予算編成・執行等を継続していただきたい。
 - ・ 財務状況はホームページ上で公開されており、情報公開の体制整備ができています。

■基準 9 法令等の遵守

評価 4

-
- ・ 法令や設置基準の遵守ならびに個人情報の取り扱いについては、適正に周知・遵守が行われており、今後も、より一層対策を強化していただきたい。
 - ・ 個人情報の保護については規則や基準を定め、教職員へ周知し、遵守している。
 - ・ 自己評価については、問題点を明らかにし、対策および改善策を実施するなど適正に行われている。
 - ・ 自己評価の結果についても適切に公開されている。

■基準 10 社会貢献・地域貢献

評価 4

-
- ・ 関係団体の研修会開催の支援や会場の貸し出しなど、学校の資源や施設を十分に活用していることがうかがえる。
 - ・ 関係団体からボランティアの要請があった際は、学生に適宜紹介し、活動参加にあたって積極的に協力しており、今後も継続した取り組みに期待したい。
 - ・ 「平成27年度宮城県介護従事者確保対策事業」を通して、中学校や高校等を訪問し、介護の仕事の魅力や大切さを伝えるといった取り組みについて、今後も推進していただきたい。

以上

学校法人日本コンピュータ学園 東北保健医療専門学校

〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院 1 丁目 3 番 1 号
